

# 入善町 議会だより

## 3月定例議会

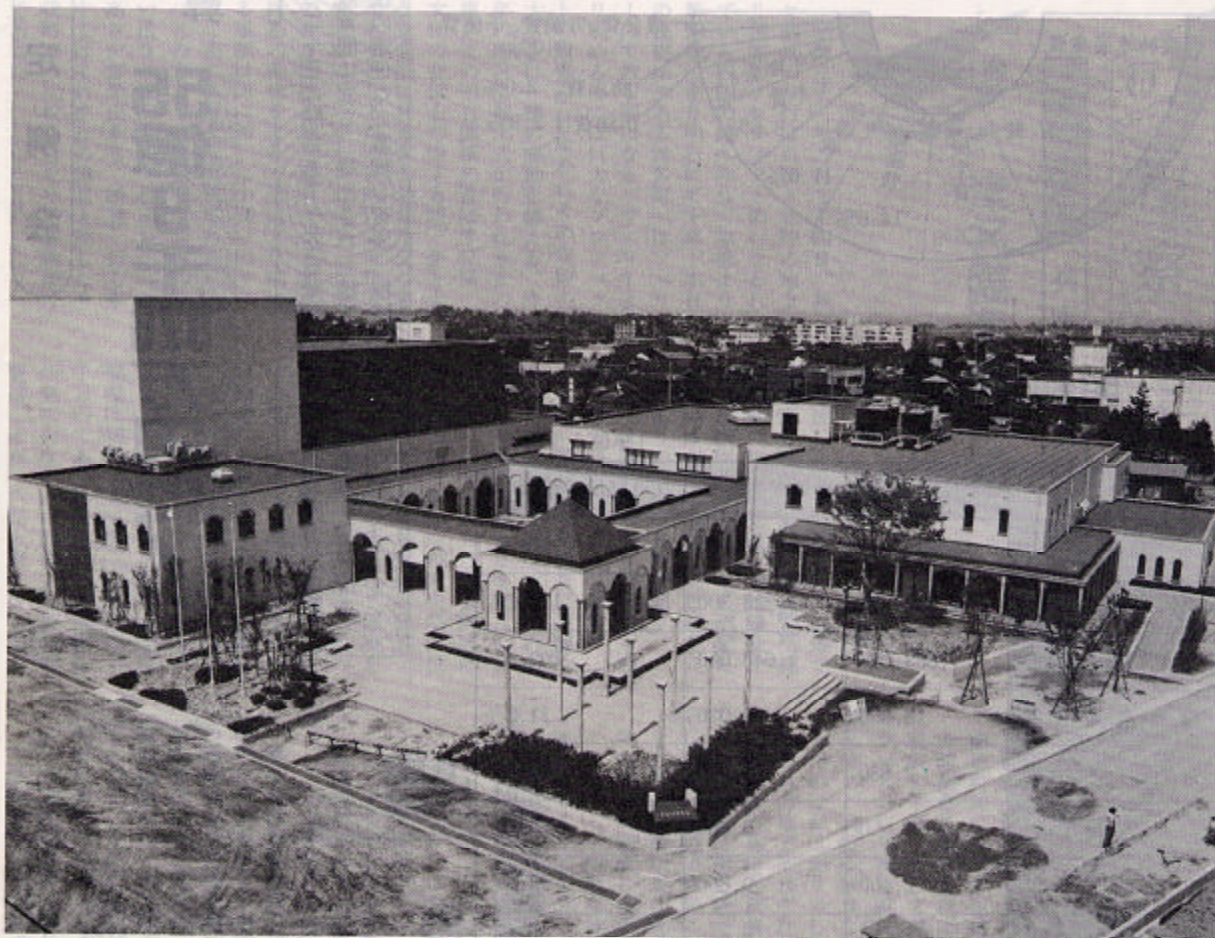
№. 52号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会

富山県下新川郡入善町入膳3,255

☎ 0765 (72) 1100

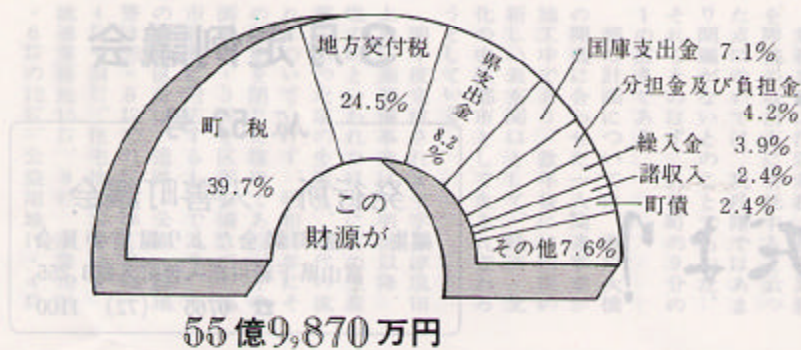


## 完成した 町民会館

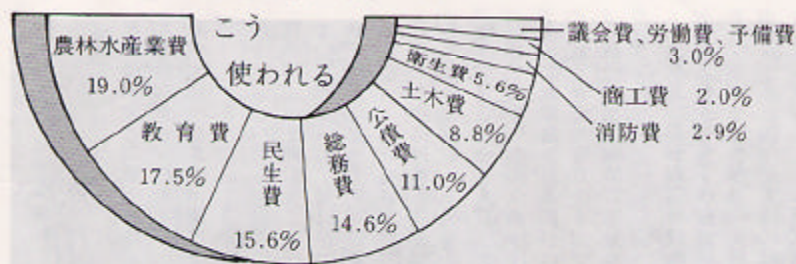
(5月22日オープン)

### ページ案内

3月定例会で決定したこと	2ページ～3ページ
町政一般質問	4ページ～9ページ
常任委員会審査報告	10ページ～11ページ
視察報告記	11ページ～12ページ
議会日誌	12ページ



55億9,870万円



### 昭和61年度予算総括表

(単位：千円)

区分	61年度予算額(A)	60年度当初B)	対当初伸率(A/B)%
一般会計	5,598,700	7,180,000	78
国民健康保険会計	1,384,284	1,223,300	113.2
老人保健医療会計	1,683,250	1,643,000	102.4
簡易水道会計	18,850	89,030	21.2
育英奨学資金会計	2,620	3,000	87.3
土地取得会計	0	5,600	0
分譲宅地会計	2,400	2,600	92.3
墓地公園会計	0	8,980	0
計	8,690,104	10,155,510	85.6

三月定例町議会は七日開会、二十日の閉会まで十四日間開かれ、町長の施政方針演説に引き続き七人の議員が一般質問に立ち、提出された議案二十件、請願六件、陳情二件ほか空席となっていた助役の選任など審議し可決、採択となった。

61年度

一般会計  
当初予算

55億9千870万円に!

第5回 3月定例会

### ※1千万円以上の 投資的経費

- 事業名
  - 一、補助事業
    - 新屋保育所改築事業 (1億2千150万円)
    - 農免農道整備事業 (1億7千858万円)
    - 農村基盤総合整備事業 (4千453万9千円)
    - 林道開設事業 (4千252万7千円)
  - 二、単独事業
    - コミュニティ除雪機械整備事業 (1千60万円)
    - 児童館整備事業 (1千万円)
    - 土地改良事業 (3千551万4千円)
    - 水路整備事業(国営かんばい舎) (5千10万3千円)
    - 町道舗装修繕事業 (1千万円)
    - 町道改良舗装事業 (6千425万円)
    - 無雪街づくり整備事業 (3千15万円)
    - 街路中町線改良事業 (5千130万円)
    - 小学校施設整備事業 (1千500万円)
- ※1千万円以上の投資的経費
  - 海岸保全施設整備事業 (1億5千982万6千円)
  - 漁港改修事業 (2千109万7千円)
  - 集落環境整備事業(芦崎) (7千103万6千円)
  - 君島村山寺線新設改良事業 (5千391万5千円)
  - 柴垣邑町線改良事業 (3千47万円)
  - 高堀上諏訪線流溝工事事業 (1千850万円)
  - 黒部川河口公園整備事業 (1千835万7千円)
  - 飯野小学校体育館建設事業 (2億9千950万円)
  - じょうべのま遺跡保存整備事業 (2千455万円)

平和の塔建立事業(野中)

(1千万円)

三、災害復旧事業

漁港施設過年度災害復旧事業  
(1千397万1千円)

### ※議決した

#### 主な

#### 議案

◇60年度入善町一般会計補正予算(第5号)

9千781万1千円を追加し、予算総額を78億7千45万円とした。

主な使用みち  
・運動公園整備拡充用地費2千500万円  
・除雪対策事業費3千120万円  
・町民会館建設事業費2千755万円

◇入善町産業展示館条例  
入善町広域圏く福人の家条例  
それぞれ設置及び管理運営に必要な事項を定める。

◇入善町特別会計条例の一部改正  
墓地公園特別会計及び土地取得特別会計を廃止し、一般会計に統合した。

◇入善町国民健康保険条例の一部改正  
被保険者が出産した時に支給する助産費を10万円から13万円に引き上げた。これに伴い育児手当金5千円の支給をカットした。

◇入善町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正  
し尿収集、運搬手数料「20円につき88円」を「20円につき89円」

に改める。

◇入善町民会館条例を制定  
会館の管理運営及びホール等の使用料金を定めた。

◇町道通場線の消雪工設置に関する請願(入善15区)

◇農村婦人の家増設について陳情(野中地区)

◇農家用水路の改修について陳情(野中地区)

### ※入善町民会館

#### 工事請負契約

#### の一部変更

町民会館の外装及び内装について、より耐久性を持たせるためなど工事費増額について承認した。

◇建築主体工事  
契約金額 「7億7千7百万円」を「7億8千6百98万2千円」に変更

◇電気設備工事  
契約金額 「1億3千7百50万円」を「1億3千9百69万円」に変更

◇給排水衛生設備工事  
契約金額 「9千9百90万円」を「1億1百53万3千円」に変更

### ※採択された

#### 請願・陳情

◇町道中林線の一部路線の変更について請願(青木、上原地区)

◇県道上飯野、大家庄線町新屋地内の消雪装置について請願

◇町道君島、栢山寺線の全線新設および舗装に関する請願

◇入善八区地区内の幹線道路および生活道路の消雪装置設置について請願

### 人事

#### 入善町固定資産

#### 評価審査委員会

委員 吉澤宏英氏

昭和61年3月18日で任期満了となった舟根秀作氏の後任に入善町青木8番地 吉澤宏英氏(大正12年10月21日生れ)を同意した。

### 人事

#### 入善町助役に

#### 増山良治氏

昨年6月、屋木健一氏の辞任後空席となっていたが、今回富山県企業局参事の増山良治氏を選任したい旨、町長から提案があり、全員一致で同意可決した。

増山良治氏(五十一才)

富山市西田地方町二丁目十番四三三号  
昭和九年十二月三十日生まれ

総務部地方課行政係長、出納事務局出納課主幹、総務部地方課主幹、商工労働部労政課長、企業局総務課長、同参事など歴任。



### 国の関係機関に

#### 入善町議会の意見書提出

●シベリア抑留者の恩給加算改訂に関する意見書

軍人の恩給加算は、勤務の特殊性と生命身体に対する危険度など基準に定められているが戦後抑留はすべて1年加算となっている。しかしながら、飢えと酷寒に耐え、長期かつ苛酷な強制労働を強いられたソ連抑留者は、その死亡率が日露戦争の倍以上にも及び正に戦争を凌ぐ犠牲をみた実態にも

う強く要望する。

昭和61年3月20日

富山県入善町議会



(提出先)

内閣総理大臣 中曽根康弘  
厚生大臣 今井 勇  
大蔵大臣 竹下 登

町政

いっぱん 質問

3月定例議会の一般質問には

7議員が  
“熱弁”

3月12日・13日



3月定例議会の議場風景

財政の安定に取り組み

自民党代表質問

岡島松次郎 議員(自民)

問 我が国は戦後40年を経て世界に類を見ない経済成長を遂げ、アメリカに次ぐ経済大国になった。これは国民の努力と我が自由民主党の誤らざる施策によるものと考え

町長は、就任以来、当局と議会は常に車の両輪として一体でなければならぬと話されるが、過去4年間を通じて議会と当局の連帯感あるいは十分なコミュニケーションが保たれていたのであろうか。厳しい見方では、独断的であり、議会軽視との声もある。執行の尺度となるものであり町長の見解は、次に町長は常に21世紀を担う、青少年に、社会的責任と社会の参加を求めている。しかし1月15日に行われた成人式にドック入りを理由に出席されなかった。成人式は年間祝日の中でも最も意義深い行事の一つであり欠席に対し不満の声も聞かれた。革新の人々の中には、国旗や国歌、また一部の祝祭日を否定する気運もあるが、よもやこつした考えではないだろうか。

約一カ月間ドック入りした。成人式には出れない状態ではなかったが行事によって差別すれば、他に与える影響もあると思ふ成人者名簿の小冊子に祝辞を載せた。私はどこの政党にも属しては決して、偏見を持って出なかつたものではない。

問 61年度入善町一般会計予算は、前年度よりマイナス22%の55億9千870万円となった。この減額要因には町民会館等大型事業の完了のほか国庫補助負担率の引き下げも影響している。しかし末端行政は厳しい財政下にあっても住民の声を尊重し対応して行かねばならない。議会で採択された多くの請願・陳情の積み残し、今後行わねばならない学校改革、中央通り線着手、土地総合整備など山積している。過去の高度成長期は終りを遂げ、今は、一進一退のゆるやかな成長期であり、財政の安定を図り行政に取り組むことが何よりも大切である。町長の考えは、

町長 61年度予算は国庫補助の負担率の引き下げにより、地方負担の増加という非常に厳しい財政の環境のもとに編成された。歳入面では歳出増に見合う町税や地方交付税などの自主財源の増加も大きく期待できない現状である。一方、歳出面では、人件費や、公債費、扶助費などの義務的経費が増高している。各種施策について、事業の優先度、あるいは緊急度を厳

議会は、議会としての権限や、機能があるし、執行部もそれなりのやるべき仕事はある。お互いに相手の立場を尊重し、理解しながらお互いに意見を闘わせ、切磋琢磨しながら町政の発展のために、町民のニーズに応じていくのが我々の責務だと思っている。指摘のように議会軽視の態度があったとすれば十分反省し、今後、議会と十分意思の疎通を図っていききたい。なお、1月15日の成人式には、なぜ出席しなかったかは、私は大体一年に1回はドック入院しているが、できればもう少し長期にわたって精密検査を受けた方がよいのではと医師からアドバイスを受け

は、医師からアドバイスを受け

しく見極めた上で財源の重点的、効率的な配分を図るのに、既定経費を削減し財源を捻出、一般経費の抑制や補助金等の整理、合理化などを行った。請願、陳情は100%直ちに予算化できるものではないが内容を十分、取捨選択しながら計画的に処理して行きたい。今、町には、60年末で財政調整積立金は6億円である反面、地方債で47

## 町民のニーズに 応えた財政計画を

清新クラブ代表質問

本多 幸男 議員（社会）

問 一、健全財政を堅持するには公債費が問題である。59年度は公債費と債務負担を合わせ16割であったものが、60年度16.5割、61年度18.9割、62年度はさらに上昇するなど、財政の硬直化が進んでいる。62年度がピークとの説明だが、61年度で比率上昇に歯止めをかけるべきではないか。

二、町民会館の完工も間近いが、次の町民ニーズに応えるべく総合体育館の建設、学校建設などが待ち控えている。財政の厳しい折、どのように打開していくか。

三、予算原案の作成には、財政当局が原案を作り各課に示し意見を求める。又逆に、各課の要求を提出してもらった方法とあるが、前段だと、財政当局の独善で仕事の選

債8千300万円、債務負担行為として21億000万円、合わせて68億8千900万円の残高がある。今後の財政運用に当たっては、60年度の剰余金を積み立てるなり事務事業の見直し、組織、機構の点検、あるいはオフィスオートメーションなど行政改革の推進に当り、より一層の行政経費の節減に努力しながら計画財政を進めて行きたい。

択を誤る。また、後段だと義務的経費が優先し、住民のための政策が軽視される。我が町の実態はどうか。

町長 一、地方交付税、町税など伸びが期待出来ず、これらの自主財源だけで運営するとなれば沈滞した行政にならざるを得ない。ある時には借入れをし積極的な行政をしていかねばならない。

二、学校建設は、将来にわたって地域の人がその恩恵を受ける。このように、ある場合には町債を起こし財源に充当しなければなら

ない。しかし、矛盾するかも知れないが常に公債比率を十分見極めつつ健全財政を堅持する必要がある。従って、財政運用の妙を図りながら

住民のニーズに応じて行きたい。財政課長 三、国、県の補助金に頼らなければならず、その動向、財源調達の関係上12月から予算編成に入る。各課から予算要求させ義務的経費、総合計画を中心に原案を財政課で作るが、最終的には三役査定により決定している。

問 一、町職員の給与体系には、一般職は8級制、消防職は5級制、技能職は4級制とあるが、一般職を例にしてだが、主査という階層を通過しないと係長になれず次の級にゆけない。一生懸命に仕事をしても級に人数枠があり、勤続年数を経過することにひずみが生じる。職員の士気にも影響することであり士気を上げる方策はないか。

町長 主任クラスから上級管理職の間に詰りの傾向がある。職員の昇給等の査定をどのような形でスムーズ

ズに導入するかが問題であり、職員組合とも話し合いをして煮詰めて行きたい。又、優秀な職員の登用を行い、士気の高揚を図って行く必要がある。

問 一、非行の低年齢化、いじめ問題は決して都会だけではなく、当町においても新聞には出ないが多くの問題があると聞く。その実態は、

二、56年以降、PTA連協の主催で町に在住する教職関係者の奉仕によって教育無料相談を開設しているが、行政でも積極的に行動すべきではないか。

三、青少年健全育成会議をはじめいくつかの協議会の場がある。しかし、委員の中には立派な方だが名譽職であつたり、行動面で無理をお願い出来ない方もおられるようだ。名目で終るのではなく、活動する会議として検討すべきでないか。

四、人手を要する米飯給食、ある



計画行政で活力ある町づくり

いは生徒増による調理員の配置は迅速に対応しているか。また、調理員が突発的に休職を必要とする時の臨時要員の確保はどのように行われているのか。

教育長

一、昨年の七月に町の教頭会が中心となり、小学校5、6年生50名、中学校1年から3年生まで25名を対象に、いじめの実態調査を行った。その結果、「よくある」と「ときどきある」と答えた人は、小学生38割、中学生13割であった。その中味は、仲間外れや嫌みを言われたものは、小学生69割、中学生50割であり、暴力を受けた子の倍の回答があつた。いじめや暴力の実態は、なかなかわかりにくい。そこで子供達に相手の立場に立つて物事を考える、あるいは思いやりの心を持つということを十分行き渡らせねばならないと考えている。

二、PTAの事業活動に対し、61

年は負担金など相当増額した。三、健全育成町民会議は、青少年の育成を健全に行つてもらうための計画を立て、論議し連絡調整するものである。なかには大変忙しい方もおられるが主旨を理解願いたい。

四、学校調理員は文部省基準で配置しているが、同じ給食でも施設によって仕事量に差があるので、改善に努力したい。なお、代員については、学校長と委員会で対応している。

い

# 企業誘致に対処し 活力ある町政を

広瀬喜代志 議員（自民）

一、61年度予算を見ると経常収支比率が悪い。財政構造に弾力性を失っているように思うが。

二、財政が緊縮している現況において、地域の諸団体の長・議会との連携を大切に、相互の英知を出し合う協議会等を作り、活力とるおいに満ちた文化の町、入善を実現すべきでないか。

三、財源の確保や、次代を担う若者たちが町に愛着を示し、将来の入善町を委ねるためにも企業誘致に取り組むことが不可欠だ。プロジェクトチーム、あるいは民間との団体を作って検討する考えはないか。

四、企業立地がいかに町に貢献しているかは税で解ると思う。その実態は。

町長 二、町政を執行するに当たって、職員だけでは対応し得ないので、町民各界層の方々に協力を頂いている。提案のように各種団体を網羅したような形で連絡調整のための恒常的な機関を設置するという点については、非常に多くの団体があり、的を絞った形の意見を聞くなどあるいは、協力を要請するには焦点がばやけてくる。部門別



拡張なった富山日本電気

に意見を聞けるような形で前向きに検討したい。

三、町に定職をして定住する者が少ない。あるいは、高学歴の方の就業の場の確保という問題もあり常に、公害のない、付加価値の高い企業を誘致することに努力をしている。誘致については担当課に

らせている。民間の活力を吸収して工場誘致に当たる。このことについては同感であるが入善町出身の諸官庁に勤務の方、あるいは、東京入善会などの会合に出席するなどし、協力依頼を行っている。

企画財政課長

一、経常収支比率は、57年69.3、58年73.8、59年74.7となったが、60年以降は80割台を超えるのではないかと推定している。ますます厳しくなる財政運営において行政経費の節減に向けて、全職員一致した創意と工夫により財政の弾力化に努力したい。

税務課長

四、新和工業、富山日本電気、東洋紡から、法人町税と固定資産で約3億円、勤労者の町税2億円くらい（吉田工業含む）である。参考までだが、入善町4千200ヘクタールの田の固定資産税は5千500万円である。

五、老人福祉対策と今後の対応は

町長

一、本町の寝たきり老人は、88名で在宅者48名、施設入所者40名である。痴呆性老人は22名、在宅者17名、施設入所者は5名である。このような方の施策として、在宅の方へは家庭奉仕員の派遣事業、一時的に介護できない時は、短期間の施設による保護事業を行っている。痴呆性の老人については、今年朝日町に出来た有磯苑へ支援するなどしている。

自宅に入浴させることが困難な方には、施設をお願いする。その他布団乾燥サービス事業なども行っている。また、一人暮らし老人は128世帯だが、日常生活の手助けを必要とする38世帯には週2・3回ヘルパーを派遣、さらに月一回給食サービスを実施している。そのほか老人の方には敬老の集い、敬老保険の給付、見舞等行っている。

二、ボランティア活動は自主的なものであるが、この活動育成に入善町社会福祉協議会へ活動基金として予算化した。

三、高齢者に軽作業の機会を持っていたため、本年中にシルバー人材センターの設立に向けて対応している。

四、老人福祉センターの利用者は一日59年は100名、60年は120名と増加している。

五、老人の福祉問題というのは、一部のお年寄りのためだけではなく、みんな必ずそうなることであり、行政の支援のほか青年、壮年の皆さんの協力と理解もお願いしたい。

## 学校整備は どこから着工

早川 誠一 議員（自民）

町長は就任以来開かれた町政をアピールし、よく町民と対話されており敬意を表するが、一方町当局と議会の一体化も大切である。今日の情報化社会においては当局と議会は常に情報を交換しながら町政に反映すべきで、それがいわゆる車の両輪でなければならぬ。当局と議会の間に溝があるのではないか。

町長

議会と執行部は、常に車の両輪のごとくありたいと願っている。議会の皆さんも法律に基づく幅広い権限が付与されており、このことを十分尊重し議会と執行部におけるコミュニケーションが損なわれないように、なお一層反省しながら取り組みたい。

問

医療費の増高が医療会計を圧迫



学校建設に向け買収した用地と入善小学校

している、甚間いろいろ噂も聞くところである。むだな医療について調査されたことがあるか。

町長

町民が医療行為を受ける場合に過剰医療などについて、町として直接立ち入り調査することは好ましくない。国保連合会あるいは県の医療課などを通して連絡をしながら行っていくべきと考える。「医は算術」とならないよう、医療行為を行う側、医療行為を受ける側、両方の自覚が必要であり、そうした事のないよう指導していく。

問

国庫補助負担率の引下げは、年度ごとに厳しさを加えている。県

や市町村においても大きく減額されたと報道されている。当町は本年度の程度と受けとめているか。

また、町税では、円高等による法人税の落ち込みはないのか。健全財政を守るには細心の注意を払い、安易な見込みは許されない。

町長

町税の見込みについては、経済の動向というのは把握できない面もあるが、現状において計算し得るものに安全率をかけ積算している。大きな誤差は生じないものと考えられる。

企画財政課長

補助金カットについては、福祉、教育、あるいは道路建設など中心に59年度比4千477万円減額となる。これは55億9千700万円のおよそ0.8%に相当するものと考えられる。

問

昨年、総合計画の財政見通しでの公債費は61年度公債比率18%、今回の予算で18%と上昇している。見込み違いなのか、予算規模によるものか。また60年度で6回にわたる補正が出されたが、61年度も補正を加味した型となるか。なお国で内需拡大を進めるため、5カ年で10兆円の民間資金による公共投資をうたっているが、その影響は町にも及ぶのか。また、本県は66億円の前倒し事業を発注するといっているが町への影響はどの程度あるか。

町長

激動の時代であり、突発的な問題、例えば除雪費や災害復旧費の

ような場合は止むを得ない。また人事院勧告など、当初から不透明なものなどもある。できれば災害など緊急な場合を除き当初予算段階で十分将来を見極めた形で予算編成をするのが理想であるが、その点理解を賜りたい。

公債費数値の差異については、総合計画実施の時点で、国の補助金カットや主要施策に対する取り組み等、非常に不透明であること、実施計画で53億5千万円といった数字が、その後の情勢変化で予算総額が増大したこと等によるものでござらぬか。

企画財政課長

公共事業前倒し策についての影響については、補助事業をどのようにするといった具体的趣旨に接していないが、財政計画を念頭におき景気浮揚に力を尽くしてまいりたい。

問

一、小、中学校の改革も逐次進められているが残された小中学校も多い。今後どのように統合あるいは

改築されていくか。

二、今日の問題である児童の非行や、いじめについて、学校側や教育委員会でのような指導とその対応を考えているのか。

町長

学校の建設には多額の財源が必要であるが、健全財政を堅持しながら計画的に進めたい。ポスト飯野をどこにするか。今までの経緯から入善小学校であろう。63年度から改築に取りかかりたい。残る学校整備については、住民とのコンセンサスを得ながら対応していきたい。

教育長

近年、いじめや校内暴力など、教育が荒廃している現象が生じている。その要因の背景としては、受験競争の加熱、学校教育制度のあり方など多い。いじめの実態をよく分析し適切な時期に適切な指導をする必要がある。子供たちの心の中まで入って、熱意をもってこの問題と真剣に取り組んでまいりたい。

### 活力ある

## 農村づくりに取り組み

野坂 俊一 議員（自民）

農産物の輸入拡大や臨調型農政の影響で、入善町3千700戸の農家は大きな影響を受けている。3千914ヘクタールから生産される米等

農産物の収入は、72億円程で一戸当たりすると200万円位にしかならず、その内60%は機械及び肥料等の費用だ。サラリーマンに比べると非常に少ない。

活力ある農村づくり、あるいは農業所得の向上にバイオテク技術を導入するなどして対策を講ずるべきではないか。これについては、既に各町村も取り組んでいることであり、当町出身バイオテクの権威者北里大学の古谷教授もおられることだ。

農業をめぐる問題は非常に厳しいが、国際的な競争力をもった農業づくりが大切である。農業は他の産業に比較して非常に生産性は低いから、低価格からといって他の業種に転換することが安易に行われ

町長

また、本町の農業は基幹産業であり、創意と工夫をもって対応していかなければならない。これからの農業は、隣の人ややるから自分も真似をしていけば良い、というような時代から、新しい生命工学に基づく先端技術を取り入れて行かなくてはならない。

町民会館の出来上がりや、古谷教授に本町農産物をどのようクノロジーと本町農業をどのように生かせるかなど、講演の機会を持つことや、先端技術導入に必要な受け皿づくりに努力して行きたい。

問

入善町国保加入者の一人当たり医療費は、58年度17万7千600円、59年度は、18万5000円であった。全国平均12万7千円、県平均16万3千円に比較し非常に高い。病氣治療は仕方がないとしても

病氣治療は仕方がないとしても



増収に願いをこめて

健康時の予防対策が弱いのではないか。

一日人間ドック、あるいは健康体操といっておられるが、医療行政上から健康対策を今後どのように推進していかれるのか。

**町長**

老人医療費は、若い人の約5倍の一人50万円と財政上大きな負担になっている。この負担増の軽減に配慮していると、税の引き上げをしなければ収支が伴わないのが現状である。

病気になるから病気を治すのではなく、病気になる先の子防が大切だ。早期発見、早期治療により医療費の増高に直結しないように、昨年より日帰り人間ドック事業を行った。さらに健康推進

大会、あるいは婦人会の協力を得て趣旨の徹底に努めている。

**問**

国の超緊縮財政により、入善町の投資的経費は年々低下している。特に町単事業の落ち込みは著しい。3万町民の要望は道路・用排水、消雪装置等生活環境整備事業が多い。財源の少ない中で今後どのように町民のニーズにこたえて行かれるのか。

**町長**

昨年は、町単事業を大幅に予算計上して、町民の要望を消化してきたところだが、61年度においてもある程度予算化した。

これからの繰越金等財源の確保を図りながら、補正予算で対応して行きたい。

### 駅前中央通り線の対応は

竹内 壮太 議員(無)

**問**

中曽根首相が偏差値、及び、いじめの問題で国民が関心を持ってのるのに、随教審答申が不鮮明であると批判している。いじめの問題は非常に難しく、明確な方針を打ち出せないのも現実かと思うが、これを放置して通るわけにはいかない。昔と違い、学校で生ずる問題はたちまちマスコミで取り上げられ、即、社会問題となる。これは、教師だけの問題ではなく入善町教育委員会としての取り組みと今後の方針は。

**教育委員長**

いじめには、社会、家庭、学校とそれぞれの発生原因に分けられるが、戦後の日本は、所謂、資源のない国がどう生きるか、そこで、技術開発などが、教育にも知識偏重という形で長年行われてきたことが一つの原因と考えられる。

いじめ対策には、学校や家庭で取り組むべきポイントもあるが、委員会として

一、教育相談体制の整備充実

二、教育学習の充実

三、学校支援体制の強化(教育委員会との相互相談)

重点としている。

しかし、人間の基本的な習性の

**問**

武村福祉会館の管理問題について尋ねる。

一、町民会館の完成により福祉会館のホールの利用度は減少しないか。

二、入善地区公民館は、中央公民館の取り壊しに伴い福祉会館へ移転すると聞くが、青年団、婦人会、カラオケ大会、詩吟グループ等多くの利用に支障は出ないか。

三、地区公民館の使用は無料と判断するが。

**教育長**

一、福祉会館全体では、利用がふえると判断している。ホールは、大規模な集会あるいは、軽スポーツの場としてのほか、従来どおり展示会等に利用する。

二、町民会館と総合的に利用すれば支障ないと考える。

三、社会教育活動については、使料を徴収しない。

**問**

街路中町線も61年で完了する運びになり、市街地は見違えるように明るい町となった。



駅前中央通り線拡幅予定地

又、多年の懸案である中央通り線も、昭和27年に計画以来61年度にはじめて調査費を見るに至った。この間30数年、家も建て替えることができない、あるいは、道路幅員も20メートルと発表されたかと思うと、いつの間にか16メートルになっている。住民は一体行政は何を考えているのかわからないと行政不信の声が出ている。また、国鉄用地を約1千坪を買うことになっているが、まだ不足する代替地の問題、さらに、商工会等で都市計画と深いかわり合いがある、コミュニティマーケット構想が話題になり、賛否両論であることなど、難問をかかえているが取り組み決意のほど伺いたい。

**町長**



中央通り線は単なる交通施設としての役割だけではなしに複合的な開発、波及的效果を生しななければならない。62年もしくは63年より着工したいが、幅員20メートルを16メートルにしたのは、実際工事を進めて行く上で関係者の意見や都市計画審議会の意見、また一部商工業者の中には20メートルの幅員では商業的立場から見れば商店が分断されるとの声など、こ

れら総合的に判断した。なお、当初計画は30数年前の計画であり、その後の情勢変化に合わせて計画路線の変更もしなければならぬ。関係住民の皆さんに説明し理解を求めるとが一番大きな問題である。また、国鉄用地の買収は一つの措置であり、コミュニティマーケットについては、商工会等で先進地など視察し調査研究の段階である。

## 住民の負担増を抑えるべきだ

九里 郁子議員（共産）

**問** 61年度の保育所措置費の補助金カットの影響は1千300万7千円にもなり児童1人当りに計算すると1万1千200円もの減額になる。中曾根内閣は昨年国庫負担率一律10%カットを1年限りとの約束をほごにしている。国に対して国庫負担金カットの延長と拡大をしないよう町長独自でも要求すべきでないか。

**町長** 国の補助金が変わり町の負担も非常に多くなってきている。保護者に町との負担区分は50%を目安に協力をお願いしたい。この補助問題は町だけではないので全国組織の町村会の問題として対応して行きたい。

**町長** 香に強い町づくりには権威者を招いて講演会を開き、地形に合ったアドバイスを受けたり、職員を県内外に広く派遣し、先進地の例を学ばせるなど、実験、研究に取り組むべきだ。61年度に予算化する考えはないか。

**町長** 職員研修は県主催のシンポジ



チューリップと園児

ームに参加させるなどしている。また長岡市の国立防災科学研究所センターの害害実験研究所長を招くことなど計画してみたい。なお、研修等に要する費用は予算化している。

**問** 健康保険制度改善以来、全国的に国保税の大幅引き上げが相次いでいる。入善町の61年度国保会計予算では、税の伸び率は、対前年比1割増になっている。税は老人保険医療制度の改正とも関係するが最終的に12割になるとの説明があるか。

**町長** 一、国に対し、国の補助金をもとに戻し、退職者医療制度の見込み違いによる赤字分は、直ちに全額国が負担することを、町長独自でも要求すべきでないか。

**町長** 二、一般会計からの繰り入れをふやし、住民の負担増を抑えるべきだ。三、育児手当5千円を廃止するこ

とになっているがやめて頂きたい。

**町長** 一、保育料のカットと同様、町独自の問題ではないので町村会等組織を通じて改善要望して行くべきだ。二、61年度は、1千万円一般会計より繰り出す予算を計上しているが増額に向けて努力したい。

**環境課長** 三、57年に県費助成も打ち切られたことや少額の支出に事務手数料がかかるので助産費に合せて支給することとした。

**問** 一、発ガン性の疑いがある有機溶剤のトリクロエチレン、トリクロエタンの2物質は富山日本電気でも使用されているが、資料を取り寄せ、検討しているか。公害防止協定への取り組み等今後の方針は。

**町長** 二、新和工業の鉱滓埋立による地下水への影響が心配される。12月議会に質問したが周辺の地下水調査を実施したか。

三、新和工業に夜間ナトリウム灯がついているが影響はないか。

**町長** 一、工業用溶剤の廃棄処理については厳重に回収されているし、河川水の検査をしても問題は無い。協定については締結する方向で進めたい。

二、新和工業は有害物質を使用していないし、周辺の簡易水道の定期的水質検査を行っているが影響は見当らない。

三、ナトリウム灯の照明機能は高く電力使用料が少ない有利さから使われており何の問題もない。

### たばこは町内で買ひましょ



220円のたばこ1箱お買いになりますと、町に44円26銭が税として入ります。昭和61年度では、およそ1億1千万円が町の収入となります。予定で、学校や道路の建設資金のもとになります。たばこは活力ある町づくりに大きな役割を果しています。

# 常任委員会・審査のあらまし

## 総務



委員長 松沢孝衛

**意見**

一、61年度一般会計予算は、60年度の町民会館、飯野小学校、働く婦人の家、産業展示館などの事業完了に伴い15億8千100万円減、率にして22パーマイナス55億9千700万円となった。さらに国の財政事情により保育所措置費、教材費、農免農道費等前年に増して補助金が削減され収入を圧迫している。その不足分を子備費の減額や特別交付税、繰越金を増額するなど過去に例のない厳しい予算編成が何える。従って執行に当っては職員の見地を結集し最少の経費で最大の効果をあげるよう期待する。

一、しかし厳しい国の財政状況の中で新屋保育所、芦崎地区の集

落環境整備事業、舟見地区の農村基盤総合整備事業等新規事業の補助金を獲得出来たことは評価する。

一、町史以来の大型事業であり、また色々な面で論議された町民会館も間近くオープンとなるが多額の維持管理費を要するので収入向上に特段の努力を必要とする。

一、O.A機器の導入は予算書作成、賦課徴収の口座振替のN.T化、など随所に改善効果が表れている。さらに経費の節減につながるよう努力されたい。

一、町債の借り入れ、財政調整積立金は金利状況を十分把握の上、運用の妙を發揮されたい。

一、今冬の豪雪を踏まえ小型のホイールローダー3台、ロータリ除雪車2台と地域に配分する予算を計上したことは住民ニーズに応えたものと評価する。さらに次年度の対応も考慮されたい。

一、61年度予算は内外の厳しい状況を踏えた予算であるが今後対応しなければならぬ小学校等の改築、総合体育館の建設、中央通り線の着手などの財源に余力を残さなければならぬので不要不急の経費は節減に向け一層努力されたい。

## 文教厚生



委員長 五十里 隆章

### 意見

一、61年度文教予算は21億3千970万円と一般会計予算総額の32.2パーセントである。これは対前年に比し13億8千900万円の減額であるが、その要因は飯野小学校、町民会館建設費の完了によるものである。箱物建設費を除くと7千900万円伸びているが、人件費、義務的経費の増によるものであり節減に努力方お願いする。

一、地方自治を取りまく行政環境には昨年に引き続き厳しいものがある。保育所措置費の補助金減額、老人保健法の改正問題など流動的な面を残した予算であるので運営に留意方お願いする。

一、児童に健全な社会性を身につけさせるため、さらに児童館(旧老人いこいの家)の環境整備をすることに努めている。しかし、隣

接する旧母子センターを児童の集会所とし、夜間は町内会に使用させることであるが、子供の遊び場の確保、児童管理面からして疑問もあり、その利用方法については十分相談されたい。

一、日帰り人間ドック事業について、61年度から国保加入者以外は一般会計で予算措置することになったが、国保加入者も同様、措置すべきである。

一、じん芥処理事業はサービス低下を招かぬよう業者を指導された。

また、今後入札について競争の原理を導入することも必要である。

一、学校の修繕等施設整備費は、前年より大幅な落ち込みであり、整備に向けて積極的な予算計上を願いたい。また、改築校とのバランスもあり、住民コンセンサスを得ながら計画を立てる必要がある。

一、町民会館もいよいよオープンするが、この管理運営に当っては十分な配慮と幼児・児童や生徒の情操教育の場、あるいは、芸術文化の涵養の場として利用計画が大切だ。

一、中央公民館は取りこわしとなるが、現在行われているバトミントン等の軽スポーツの場がなくなるので、これの対応と将来計画を立てる必要がある。また、現在、中央公民館で活動している諸団体は新中央公民館に於いて、従来どおり活動に支障がないよう調整が必要である。

一、国保税は前年より47パーアップ

## 産業建設



委員長 板川 清治

### 意見

一、町民が最も整備を望んでいるが補助対称とならない町単道路費で7千200万円、無雪害街づくり(消雪)で700万円、前年度よりマイナスイメージだったが、今後の収入や繰越金状況を見て補正で増額するよう考慮されたい。

一、産業建設予算は昨年の15億5千200万円(働く婦人の家・産業展示館の建設費除く)から16億9千500万円と22パーアップしており町単事業費の落ち込みを農免農道整備等補助事業で対応していることや他用途利用調査施設や米作り運動など多種多様な配慮が何られる。

している。しかし、これは老人加入者の少ない健保組合と老人加入者が多くて医療費が重む国保の医療費をアールセンとする老人保健法の改正によって税は大きく変化するものと思われる。今後この改正は国会でも論議を呼ぶと思うがこの動向に注意すること、税が少しでも軽くなるよう対策を講ぜられたい。

行政  
視察報告記

二月二十四日 兵庫県津名町

津名臨海構想は  
素晴らしい



広瀬 喜代志 議員

一、勤労者福祉センター、働く婦人の家等多くの建物が出来たがこれら施設の維持管理費は必要最少限に止め、さらに合理化の方法はないか検討されたい。

二、各種補助金が多く出されているがその実態を十分調査し投資効果、結果を踏まえて今後の補助金に検討を加えられたい。

三、61年度よりトラクター、コンバインは課税対象としたが法とはいえ課税に見合った額を農業施策に反映して行くべきである。

四、農業従業者の高齢化、兼業化が進む中であつてその核となる農家あるいは後継者を育成し農業に意欲を持って取り組まれる施策はないかさらに検討されたい。

一、街路中町線は61年度で完了するが、駅前中央通り線の着手に向けて地元とのコンセンサス、上局の事業認可に努力されたい。

二、三年続きの豪雪は多額の費用を要したが今、富山県をはじめ各市町村で利雪、克雪対応の研究がなされている。児童、生徒のアイデアを取り入れるなり雪対策について十分研究の余地がある。

一、7件の道路整備に関する請願陳情は、町民の生活に直結する問題であり財政を見極め、緊急を要するものから対応されたい。



昭和六十一年二月二十四日、我々議員の一行は肌寒き北陸の地より国家的プロジェクトの行なわれている四国の地へ向う。京都より新幹線に乗り明石にて下車、本日の視察地である津名町へはフェリーにて渡る事になる。フェリーより眺める海では巨大なプロジェクトの調査が行なわれその規模の大きさに一種の感動を憶える。今年の四月に起工式が行われるとの事、この明石架橋の及ぼす経済、文化の交流を想像する時、夢と大きな変動に対処する地域住民の姿がありありと浮かび時代の変化に感慨深いものがあつた。フェリーで渡り淡路の島へ到着、バスで淡路島の幹線を走る。沿道より眺める風景は海に面した小高い山々に面し実に温暖なる気候である。バスの窓より見る家々は素晴らしい造りの家が多い。経済レベルの高さが想像出来る。議員一行も車中ではそれぞれの議員と話したり我町との比較をしたりで興味深々であつた。

午後二時三十分近く目的の地である津名町へ到着。助役、議長、総務課長の歓迎を受け、大林議長が代表し挨拶、一杯のコーヒが配られた時は安らぎの空気がただよい当局よりの説明を真剣に聞く。それで津名町のプロフィールを紹介させていただく事にします。

津名町 昭和三十年四月に近隣六ヶ町村が合併して誕生、町域の面積は五十三、九七平方キロメートル、人口一七、六九九人で大阪湾に面した淡路島東海岸の中央部に位置し津名郡における交通、経済、生活、文化の中心地として発展をしております。近年、津名沖埋立地の事業推進、架橋、縦貫道及びこれに関連する道路交通網整備等、地域開発の骨格をなす世紀の大事業が着々と進展され、淡路島の中核都市として大きく変ぼうを遂げようとしている町であります。予算規模は昭和六十年、三十二億七千万円であり過去に於いて投資が活発に行なわれた関係上投資的経費は二十六・六%と実に少く済み

であると説明を受けました。特に海を埋立しての津名臨海構想は素晴らしいものでありましたが地価の上昇が平均15〜16万、その為企業の進出がわずか2%の現況でありアジアポートとしての役割の遅れが心配されておりました。又国道沿線に於ける地価が50〜60万と聞かされ驚きを倍にしました。現実と未来、そして夢が交差しパランスの取り難い町になつていると感じ、我町に限りない愛着を持ったのは私ばかりでしょうか。それぞれでそれぞれの人々が郷土の発展の為にと真剣に取り組んでおられる姿に接し我々も議員人として多に学び真剣に取り組む事を心新たに致しました。数年後に明石架橋が完成し本土と一体になった時どんな構想を呈しているか楽しみです。

第二日目の宇多津町は、本四運路橋の児島坂出ルートの瀬戸大橋の乗入れ地であり、中でも鉄道の新宇多津駅が設置され、本州と四国を結ぶ四国の表玄関となる要衝とあつて、今や町をあげて瀬戸大橋時代の中核都市をめざして世紀の大事業を遂行中である。

宇多津町は、香川県のほぼ中央

二月二十五日 香川県宇多津町

議会運営など  
視察の見どころ



早川 誠一 議員

に位置し、人口約1万2千人、面積約8km<sup>2</sup>で北に瀬戸内海国立公園に面し、歴史的にも香り豊かな寺社の多い町である。

宇多津町の視察の見どころを議会運営、業務委託、都市計画の3点を要点とした。議会の議員定数は、昭和34年より20名から10名に半減し現在に至つており、議



説明を聞く議員一行（津名町）

会運営に支障がないものか、又、選挙を通じての不都合等について説明を求め質問等が交わされた。委員会の構成は、総務民生常任委員会、建設教育常任委員会、特別委員会、新宇多津開発特別委員会、公害・交通対策特別委員会、観光開発特別委員会であり、それぞれ委員数は5名である。重要な案件については全員協議会にて進め、議員報酬は課長給与に匹敵し(35万円)議員活動に大きく反映されているようである。

業務委託は消防業務、救急業務を隣接の坂出市に委託すると云った点については、現段階ではあまり問題がないとのことであった。それもそのはず、入善町の9分の1の広さである。

都市計画については、瀬戸大橋の開通に合わせた一大関連事業が施工中であり、数年後には四国の新しい表玄関口として、経済・文化の中核都市として生まれ変わろうとしている。

明年度完成されます宇多津塩田土地区画整備事業は、明治以降、塩の町といわれたほどに町の産業であった塩の生産も、時代の流れについていけず、昭和46年にその歴史を閉じた塩田であり、その面積約3町を区画整備して、都市計画に対応するものであり、その利用区分は、道路・公園・緑地等は56・8町で31町、準工業地45・4町で24町、住宅地30町の16町、流通業務地15町、8町、商業地21・6町の12町、公益用地17・4町

で9割の利用計画が樹立されている。又、この事業に地域振興整備公団が加わって事業の促進をしていくなど、注目すべきものがあった。この事業費は57年度積算で22億と云われ、土地の利用計画に当局は悩みを訴えているとのことである。

さらに生活環境整備事業として先に完成されている大東川流域下水道に併せて、宇多津町下水道事業も都市計画事業に繰入れられ、目下施工中であり完成が待たれるところである。その他瀬戸大橋の完成と共に新宇多津駅の建設により、本州からの物資の大量輸送に伴う流通センターの建設等の他、文化施設、福祉施設が整備されている。

終わりに、56年に新築された庁舎は、ガラス張りの4階である。まるで東京都で見る商社のビルのごとく、感ぜられる。庁舎全体が明るく、働く職員も外から丸見えではやややも出来ないようである。又、議員は一人専用机を持ち会議室もすばらしい。見るからに近代的であり、21世紀をめざす町の意気が高まって感じられ、後日再び宇多津町の四国の玄関口としての発展を見とどけたい想いを抱き庁舎を後にした。それにしても鳴戸大橋、瀬戸大橋、尾道今治橋と日本の公共事業の奇合いのように、政治力の偉大さを目を見張る思いがした。



2月		3月		4月	
3日	議会運営委員会	28日	議員全員協議会	2日	町民会館特別委員協議会
7日	下新川三町議会議員協議会総会	27日	新川広域園遊会	7日	下新川郡議長会
10日	新幹線対策特別委員会協議会	26日	香川県宇多津町	10日	入善幼稚園入園式
12日	県陳情	25日	兵庫県津名町	14日	入善管内土地改良区総会
17日	農林水産省等中央陳情	24日	委員会合同行政視察	15日	入善駅利用促進協議会幹事会
18日	新川広域営農団地農道整備事業促進陳情	21日	町民会館建設特別委員協議会	17日	特別養護老人ホーム有磯苑落成式
19日	防災行政無線開所式	20日	都市計画審議会	18日	入善町身体障害者協議会総会
20日	都市計画審議会	16日	北陸新幹線富山駅周辺環境整備事業祝賀会	19日	入善町小中学校校長会
21日	町民会館建設特別委員協議会	14日	文教厚生委員会	20日	朝日町庁舎落成式
24日	議員合同行政視察	13日	議員全員協議会町内現地視察	21日	県町村議会議長会県外行政視察
25日	兵庫県津名町	12日	議会定例会(2日目)	22日	朝日町庁舎落成式
26日	香川県宇多津町	11日	議会定例会(3日目)	23日	議長全員協議会
27日	新川広域園遊会	10日	議会運営委員会	24日	入善町出身等中央官庁勤務者との懇談会
28日	議員全員協議会	8日	県陳情	25日	建設者等中央陳情
29日	新川広域園遊会	7日	議員全員協議会	26日	警友会入善支部総会
30日	議員合同行政視察	6日	合同協議会		
31日	町民会館建設特別委員協議会	5日	総務・都市計画特別委員		
		4日	黒東交通安全協会総会		
		3日	黒東交通安全協会総会		

◎5月と言えはさわやかな風に新緑がゆれ、目に心地よく写る一年中で最も過ごしやす季節です。あつというまに田植えも終りましたが、今年も豊作であるよう念じてやみません。

◎一年近くも空白であった助役も決まりました。県とのパイプ役、あるいは厳しい財政下にあつて、地方行政に精通した増山氏に大いに期待を寄せています。

◎61年度予算も決まり一般会計予算は前年より22パーセントマイナスになりました。これは町民会館等の箱物建設の完了によるものです。しかし町民の皆さまの最も要望が高い道路・水路・消雪等の整備費については、今後さらに増額するよう働きかけていきます。

議会だより編集委員会  
委員長 大林政雄 委員 板川清治  
副委員長 西尾三郎 委員 岡島松太郎  
委員 松沢孝衛 委員 広瀬義孝  
委員 五十里隆章 委員 竹内壮太



編集室より